

平成 18 年度 トピックス

■青葉山新キャンパス整備事業

本学では、国際競争力を持った世界最高水準の総合大学として一層の飛躍と発展を遂げていくためのプロジェクトとして、青葉山新キャンパス整備事業を進めています。

平成18年度は青葉山地区の土地(約814千㎡)を取得しました。今後、環境アセス・開発許可等を経て平成20年度より建築工事を進めて行く予定です。

主要キャンパス及び青葉山新キャンパス位置図



学生寄宿舍 (ユニバーシティ・ハウス三条)



平成 18 年度 財務ハイライト

- 運営費交付金に対する係数による一律削減などの厳しい環境の中、積極的な外部資金の獲得や附属病院収益の増等により費用・収益とも前年度をそれぞれ40億円、43億円上回る決算となりました。
- その一方で総人件費抑制策などの国の施策に従い業務運営の効率化にも取り組み、計画的な予算執行と適切な業務運営を行いました。その結果として22億円の利益を計上し、繰り越し金(目的積立金申請額)は約20億円となり過去2年に引き続き収益の1%台になりました。

(単位：億円)

財務諸表	科目	平成16年度	平成17年度	平成18年度
貸借対照表	資産	3,205	3,358	3,336
	負債	1,327	1,380	1,412
	資本	1,878	1,978	1,923
損益計算書	費用	1,071	1,058	1,098
	(内 経常費用)	(1,010)	(1,057)	(1,093)
	収益	1,105	1,078	1,121
	(内 経常利益)	(1,031)	(1,077)	(1,118)
	目的積立金取崩額	—	1	—
大学の運営状況	損益	33	21	22
	目的積立金承認(申請)額	16	21	(19)
	キャッシュ・フロー計算書			
大学の資金の流れ	業務活動	294	122	144
	投資活動	▲74	▲103	▲190
	財務活動	▲1	53	▲37
	資金期首残高	—	217	289
	資金期末残高	217	289	205
国立大学法人等業務実施コスト計算書	実施コスト	714	690	669
大学の収支状況	収入	1,137	1,301	1,144
	支出	1,042	1,252	1,137
	収支	95	48	6

受託研究・寄附金等収益の増加

研究成果の公表(仙台・東京でのインベションフェアの開催等)や協定の締結など積極的に産学官の連携協力に取り組んだ結果、前年度に引き続き受託研究・寄附金等収益が増加しています。

15億円

附属病院収益の増加

平成18年9月に国立大学病院の単体病院としては最大級(1,308床)の新病棟が稼働し、附属病院収益も前年度に比べ約9億円増加しました。また、今年度は差額室の増床、新規医療機器の導入等による増収策を図りました。

9億円

東北大学財務レポート 2007 (リーフレット版)

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1 東北大学財務部
東北大学ホームページ <http://www.tohoku.ac.jp>

TOHOKU UNIVERSITY Financial Report 2007 東北大学財務レポート 2007

平成18事業年度

[2006年4月1日~2007年3月31日]

キャッシュ・フロー計算書

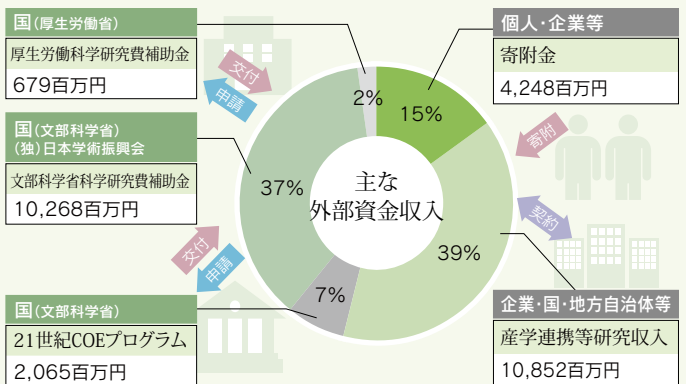
(単位:百万円)

科目	平成18年度	平成17年度
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	14,420	12,236
原材料、商品又はサービスの購入による支出 人件費支出 運営費交付金収入 授業料・入学金等収入 等		
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲19,024	▲10,373
定期預金の設定による支出 有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出 施設費による収入 等		
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲3,776	5,324
長期借入による収入 国立大学財務・経営センター債務負担金の返済による支出 リース債務の返済による支出 等		
IV 資金に係る換算差額	—	—
V 資金増加額	▲8,380	7,187
VI 資金期首残高	28,978	21,790
VII 資金期末残高	20,597	28,978

キャッシュ・フロー計算書では資金(キャッシュ)の流れ(フロー)に焦点を当て、業務活動・将来への投資・資金の調達の各々の目的別にどれだけ資金を投入したか(あるいは獲得したか)を表示します。

■外部資金

本学では積極的に産学官の連携や競争的資金の獲得に取り組んでおり、外部資金の受け入れは年々増加する傾向にあります。



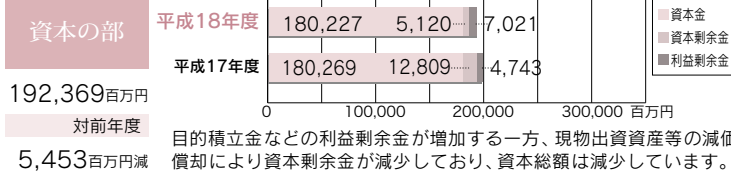
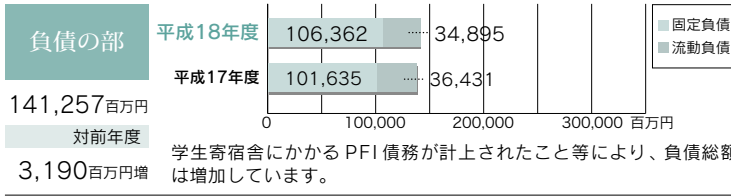
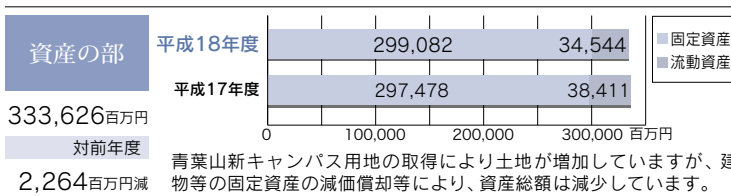
※科学研究費補助金や21世紀COEプログラムなど研究代表者等に交付されるものについては預り金として処理されるため、損益計算書上の費用、収益には計上されません。

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	平成18年度	平成17年度	科目	平成18年度	平成17年度
資産の部	333,626	335,890	負債の部	141,257	138,067
(固定資産)			(固定負債)		
土地	135,557	133,685	資産見返負債	47,842	45,290
建物等	101,929	108,126	借入金	50,227	51,787
機械備品	33,221	30,012	長期未払金等	8,292	4,557
図書・美術品	24,912	24,618	(流動負債)		
建設仮勘定	995	163	運営費交付金債務	2,540	2,527
その他	2,467	872	寄附金債務等	9,636	8,860
(流動資産)			借入金	3,745	3,456
現金・預金	28,397	32,978	未払金	17,126	20,038
未収入金	5,563	4,549	その他	1,847	1,548
(未収学生納付金収入)	100	104)	資本の部	192,369	197,822
(未収附属病院収入)	4,469	4,009)	資本金	180,227	180,269
(その他未収入金)	993	435)	資本剰余金	5,120	12,809
その他	583	883	利益剰余金	7,021	4,743
			(目的積立金)	3,025	887)
			(積立金)	1,717	1,698)
			●(当期末処分利益)	2,278	2,157)

貸借対照表は決算日における本学の全ての資産、負債及び資本を記載することによりその財政状態を明らかにすることを目的としています。



目的積立金などの利益剰余金が増加する一方、現物出資資産等の減価償却により資本剰余金が減少しており、資本総額は減少しています。

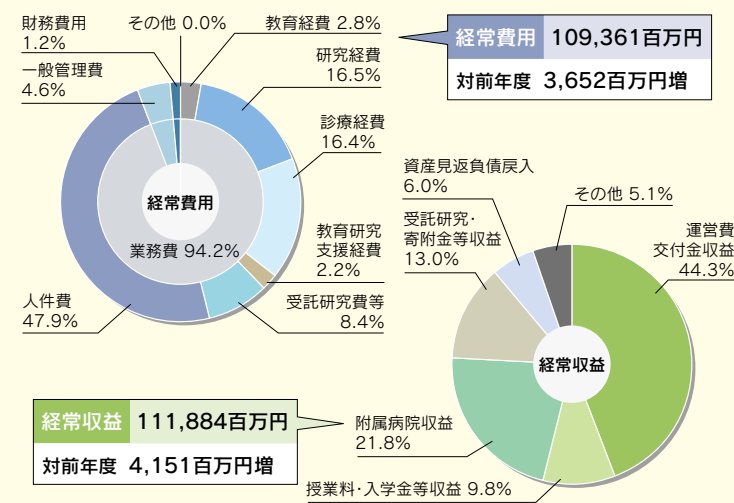
損益計算書

(単位:百万円)

科目	平成18年度	平成17年度	科目	平成18年度	平成17年度
経常費用			経常収益		
教育経費	3,008	2,782	運営費交付金収益	49,554	51,103
研究経費	18,021	17,527	授業料・入学金等収益	10,965	10,374
診療経費	17,891	17,162	附属病院収益	24,350	23,421
教育研究支援経費	2,454	2,484	受託研究・寄附金等収益	14,549	13,028
受託研究費等	9,219	8,724	資産見返負債戻入	6,731	7,105
人件費	52,388	51,073	その他	5,731	2,700
一般管理費	5,061	4,649			
財務費用	1,305	1,300			
その他	9	5			
経常費用 合計	109,361	105,709	経常収益 合計	111,884	107,733
臨時損失	484	100	臨時利益	239	84
●当期総利益	2,278	2,157	目的積立金取崩額	—	150

損益計算書は事業年度内に本学が実施した事業等により発生したすべての費用と収益を記載することにより、その運営状態を明らかにしています。

■経常費用・経常収益の構成内訳



国立大学法人等業務実施コスト計算書

(単位:百万円)

科目	平成18年度	平成17年度
I 業務費用	55,831	57,538
損益計算書上の費用(控除)自己収入等	109,845	105,810
授業料収益・附属病院収益等	▲54,013	▲48,271
II 損益外減価償却相当額	8,463	9,175
III 損益外減損損失相当額	236	—
IV 引当外退職給付増加見積額	▲1,034	▲1,591
V 機会費用	3,496	3,891
国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用等		
VI (控除) 国庫納付額	—	—
VII 国立大学法人等業務実施コスト	66,993	69,014

業務実施コスト計算書では国立大学法人を運営するにあたっての国民負担額を示します。VIIに示された金額が国民の皆様の本学に対する負担額を表します。

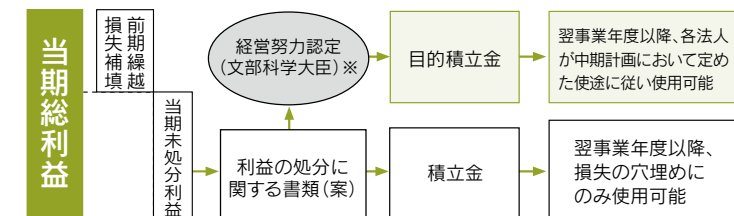
利益の処分に関する書類(案)

(単位:百万円)

科目	平成18年度	平成17年度
I 当期末処分利益		
●当期総利益	2,278	2,157
II 利益処分額		
積立金	280	19
目的積立金	1,997	2,138

利益の処分に関する書類は、当期末処分利益の処分の内容を明らかにするものです。

■決算剰余金(当期利益)の処分と目的積立金について



※承認対象は、現金の裏付けを持ち、翌年度以降事業の用に供することが可能な額。